

# ゆめ

原田直友

動物園のおかあさんライオンは  
ふるさとの大草原を  
矢のように走るゆめをみます



目ざめて  
子どもたちに話して聞かせます  
子どもたちは口々にいいます  
おかあさん ぼくもいっしょでしたか  
(ええ いっしょでしたとも・・・)  
おかあさん わたしも  
(もちろん あなたもよ)



子どものライオンはゆめをみます  
おかあさんのゆめの中の  
あのアフリカの大草原を  
おかあさんといっしょに矢のように走るゆめをみます

お母さんライオンの夢。その夢についての子どもたちとの会話。子どものライオンの夢。この詩に描かれている一つ一つのシーンが鮮やかに目に浮かんでくるようです。

さて、この詩はどう読みましょう。会話の部分をより引き立てるためには、その前後のシーンは淡々と読むのがいいのか、それとも、感情を込めて読むのがいいのか、一度読み比べてみてください。